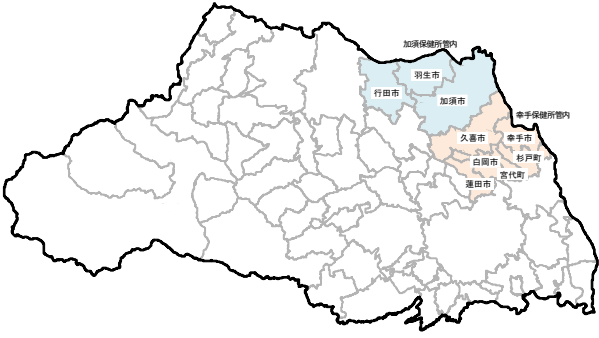


# 利根保健医療圏

	<b>【圏域の基本指標】</b> [県値] 人口総数 635,455 人 人口増加率 (H27～R2) △1.8% [ 1.1%] 年齢3区分別人口 { 0～14歳 69,136 人(10.9%) [12.0%] 15～64歳 361,369 人(56.9%) [60.8%] 65歳～ 197,723 人(31.1%) [27.1%] 出生率 (人口千対) 5.1 [ 6.4 ] 死亡率 (人口千対) 11.5 [10.5 ]
	保健所 加須保健所・幸手保健所 圏域 (市町村) 行田市・加須市・羽生市 久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町

## 取組名 感染症医療

### 【現状と課題】

令和元年に中国で確認された新型コロナウイルスが世界的に流行し、令和2年にWHO（世界保健機関）が国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言しました。令和5年5月に宣言が終了されるまでに本県においては、約180万人が陽性となりました。このパンデミックでは、これまでの感染症では想定していない対応が求められました。これを踏まえ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症の発生及びまん延に備えるため、令和4年12月には、感染症法の改正がなされました。

今後も新たな感染症の発生に備えるため、平時からの体制構築が課題となっています。また、感染予防対策の一環として、積極的に予防接種を推進していく必要があります。

その他、若年者を中心として梅毒の報告件数が急増するなど性感染症の増加が懸念される中、HIVを含む性感染症に関する正しい予防知識の普及及び早期発見体制の構築も必要です。

### ◇麻疹予防接種率の年次推移

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	第1期	第2期	第1期	第2期	第1期	第2期	第1期	第2期
埼玉県	95.2%	94.1%	99.2%	94.9%	92.4%	94.1%	96.1%	92.8%

### ◇HIV抗体検査数に関する年次推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
埼玉県	4,946	1,450	2,021	2,701
利根保健医療圏	158	103	120	80

## 【施策の方向（目標）】

感染症に罹患しても迅速・適切な検査・治療を受けることができ、感染拡大を最小限に抑える体制を構築します。また、新興感染症（新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症のことをいう。以下同じ。）の発生に対して、関係機関と連携して、平時から感染症の発生及びまん延を防止していくための医療提供体制を整備し、県民が安心して生活できる社会を目指します。

## 【主な取組及び内容】

### ■ 感染症対策の強化

新興・再興感染症などの大規模な流行が見込まれる場合は、医療機関や市町などの関係機関と連携し、相談、診療・検査、医療・療養の体制を強化するとともに、感染防止対策の普及・啓発やワクチン接種などの実施により、感染防止策を推進します。

〈実施主体：医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防機関、市町、保健所 等〉

### ■ 感染症の集団発生時に対応できる医療機関、社会福祉施設等の整備

医療機関や介護サービス等を提供する社会福祉施設において、感染症のまん延防止策を講じる体制を平時から整備します。感染症の知識の普及や結核など呼吸器感染症患者の早期受診に関する啓発を平時から行い、有事の際は適宜必要な情報を提供します。

〈実施主体：医療機関、医師会、市町、保健所、介護サービス事業所〉

### ■ 定期予防接種率の向上

麻疹・風疹、急性灰白髄炎、水痘、肺炎球菌などの定期接種を実施し、集団免疫を確保します。

特に、保育所などで集団生活を行う乳幼児については、定期予防接種の実施状況を把握しておくことにより感染症発生時の緊急的な対応に備えるようにします。

〈実施主体：医療機関、医師会、市町、保健所〉